半生地完成バルサキット

オリンピア組立説明書

この度は、オリンピアをお買い上げいただきありがとうございます。各部品（胴体や主翼など）単位で一部半完成となっていますが、残された部分の組み立ては重要なところがあります。この組立説明書を良く読み、充分理解してから正確に組み立てて下さい。
組立上の問題による事故、破損等、不利益損害についての一切の責任は使用者にあり、メーカー及び販売会社が責任を持つものではありません。

重要 キットに同梱しています製品管理カードを無くさないように大切に保管して下さい。お買い上げ頂いた製品に関する問い合わせやスペアパーツの購入など、当社製品のサポートサービスをお受けいただく際に必要となります。管理記号がない場合には、サポートサービスの提供をお断りする場合があります。念のために、右の欄に記入しておきましょう。
OK模型のホームページでは機体やアクセサリーに関する様々な情報を掲載しています。

品番	品名	管理記号
12154	オリンピア	

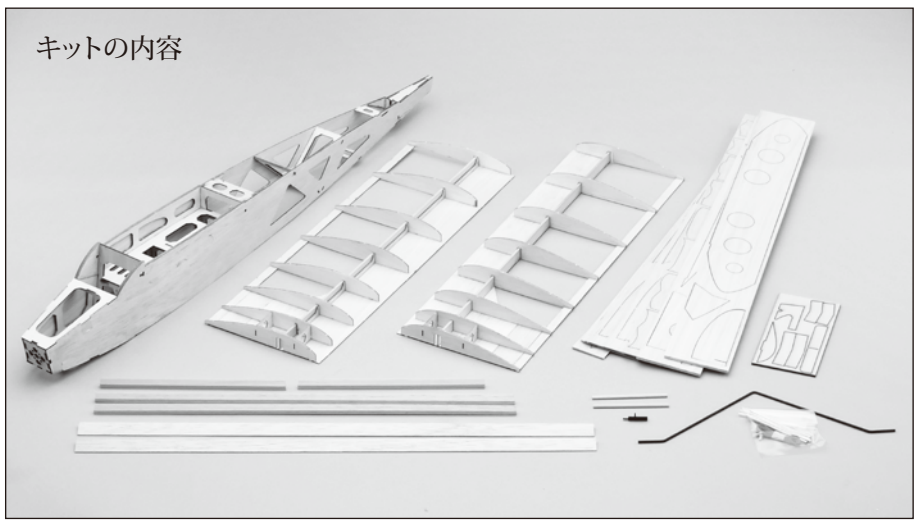
https://www.okmodel.co.jp

■飛行までに必要なもの（別途用意してください）
・飛行機用プロポセット　4チャンネル以上　パークフライ用不可
・Tahmazo TS-D1132MGサーボ×2
・Tahmazo ブラシレスモーター　アポロ38V-1150(7x4.5)セット
・Tahmazo スピードコントローラー　Pro.C A-15
・Tahmazo リポバッテリー　LP-3S1P1000RE
・Tahmazo リポ専用充電器
・Pilot ゴールドコネクター 4 .0BL（オス・メス2セット）
・Pilot 収縮チューブ3mm,5mm
・Pilot スポンジタイヤ45mm×2
・Pilot ホイルストッパー内径3.1mm
・Pilot EZヒンジスモール
・Pilot 翼止め輪ゴム#25-4.5(幅4.5mm折径100mm)×8
・クッション付両面テープ及び粘着マジックテープ(Pilot テープファスナー各色)
・オリンピア用フィルムセット(またはAフィルム 約3m)
■接着剤（別途用意してください）
・OKボンドHW（高粘度瞬間接着剤）　・OKボンドBW（中粘度瞬間接着剤）
・OKボンドFX（低粘度瞬間接着剤）
・飛鳥サンダブルボンド（木工接着剤）
・30分硬化型エポキシ接着剤

■組み立てに必要な主な工具
・カッターナイフ
・プラスドライバー（中・小）
・1.5mm六角レンチ
・ハサミ
・ラジオペンチ
・ニッパー
・クラフトのこ切り
・半田ごて／半田
・目玉クリップ／洗濯バサミ
・マスキングテープ／セロテープ
・Pilot サンディングブロック
・ボールペン／マジック
・定規／三角定規／巻尺
・Pilot VIPアイロンF2（模型用シーリングアイロン）
・ヒートガン
・ライター
・アルコール及びウエス（ボロ布）等
・工作台

ステップ1：梱包物の確認

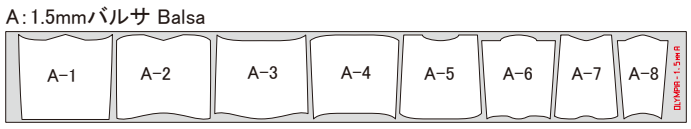
組立を開始する前に下記のリストに沿って、梱包物の確認をします。



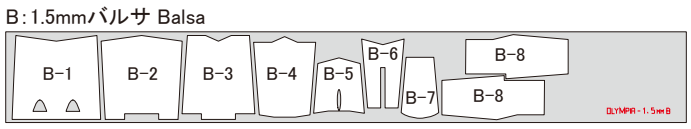
半組み立て済胴体 1
半組み立て済内翼（左右） 各1
(A)600 x 80 x 1.5mm バルサ 1
(B)600 x 80 x 1.5mm バルサ 1
(C)600 x 80 x 1.5mm バルサ 1
(D)450 x 80 x 1.5mm バルサ 2
(E)450 x 80 x 2mm バルサ 1
(F)300 x 80 x 3mm バルサ 1
(G)600 x 80 x 4mm バルサ 1
(H)450 x 80 x 4mm バルサ 1
(I)100 x 40 x 2mm ベニヤ 1組
(J)160 x 80 x 3mm ベニヤ 1組
(K)50 x 50 x 1.2mm ベニヤ 1
(L)6 x 12 x 502mm 内翼前縁材 左右各1
(M)6 x 12 x 225mm 翼端前縁材 左右各1
(N)18mm テーパーバルサ後縁材 左右各1
(O)φ4mm ラミン丸棒 2

メインギヤ 1
3 x 6mm ビス 2
2 x 8mm タッピングビス 2
3mm アルミパイプ 2
水糸 3m 1

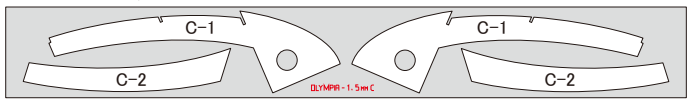
A:1.5mmバルサ Balsa



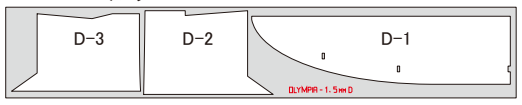
B:1.5mmバルサ Balsa



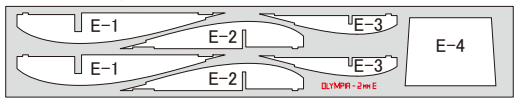
C:1.5mmバルサ Balsa



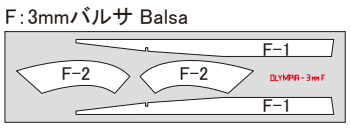
D:1.5mmバルサ Balsa x2



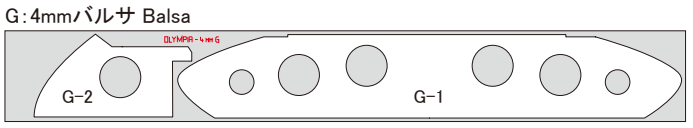
E:2mmバルサ Balsa



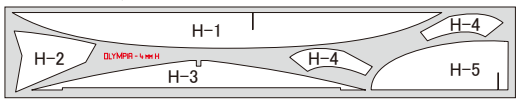
F:3mmバルサ Balsa



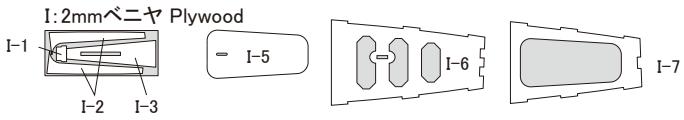
G:4mmバルサ Balsa



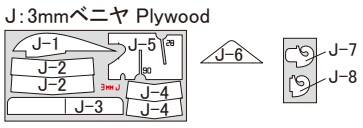
H:4mmバルサ Balsa



I:2mmベニヤ Plywood



J:3mmベニヤ Plywood



K:1.2mmベニヤ Plywood

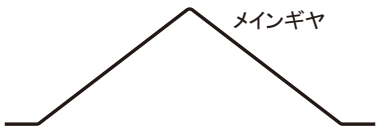
L:バルサ内翼前縁材 左右　Balsa L&R　L=502mm

M:バルサ翼端前縁材 左右　Balsa L&R　L=225mm

N:テーパーバルサ後縁材 左右　Balsa L&R　L =502mm

O:φ4mmラミン丸　棒 x2　Dowel

メインギヤ



3x6mmビス x2

2x5mmタッピングビス x2

3mmアルミパイプ x2

水糸 3m

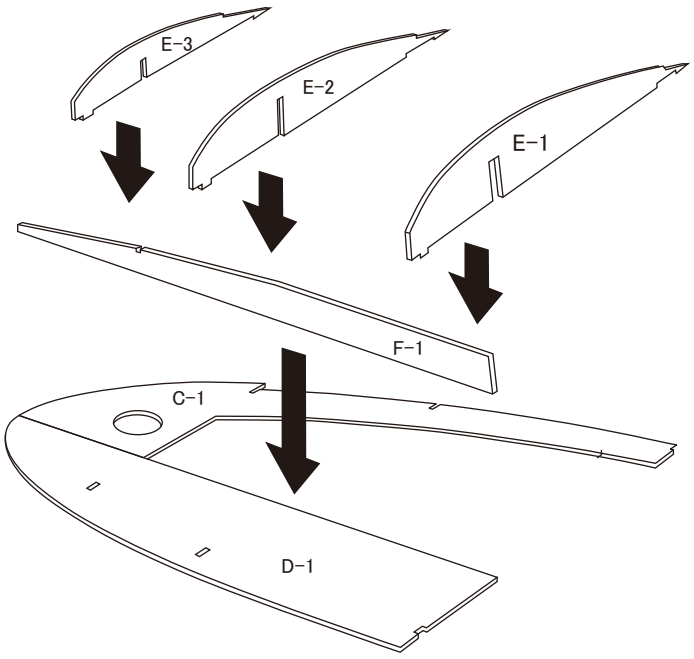
本説明書の一部またはすべての記述について株式会社OK模型の承諾を得ずに無断で複写、複製することを禁じます。

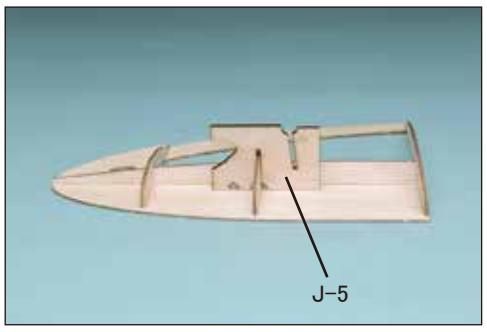
MADE IN JAPAN　© COPY RIGHT 2014-2022 OK MODEL CO.,LTD.

ステップ2：翼端の組み立て

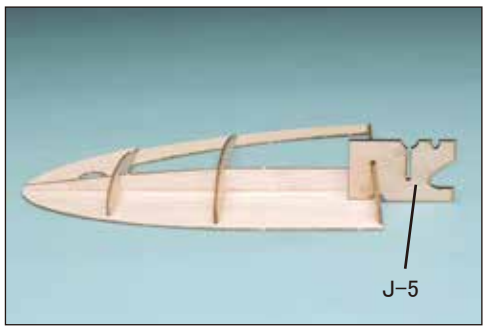
図の様に各部品を図面の上で組み立てた後、OKボンドFX（低粘度瞬間接着剤）を部品と部品の間に流します。

注意：以下のイラストは、右側翼端の組み立て手順です。間違わないように左右を作る事。P-7/7の原寸図の上で組むと良いでしょう。

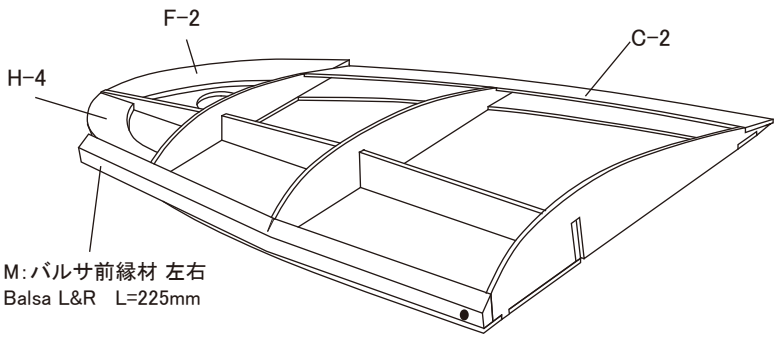


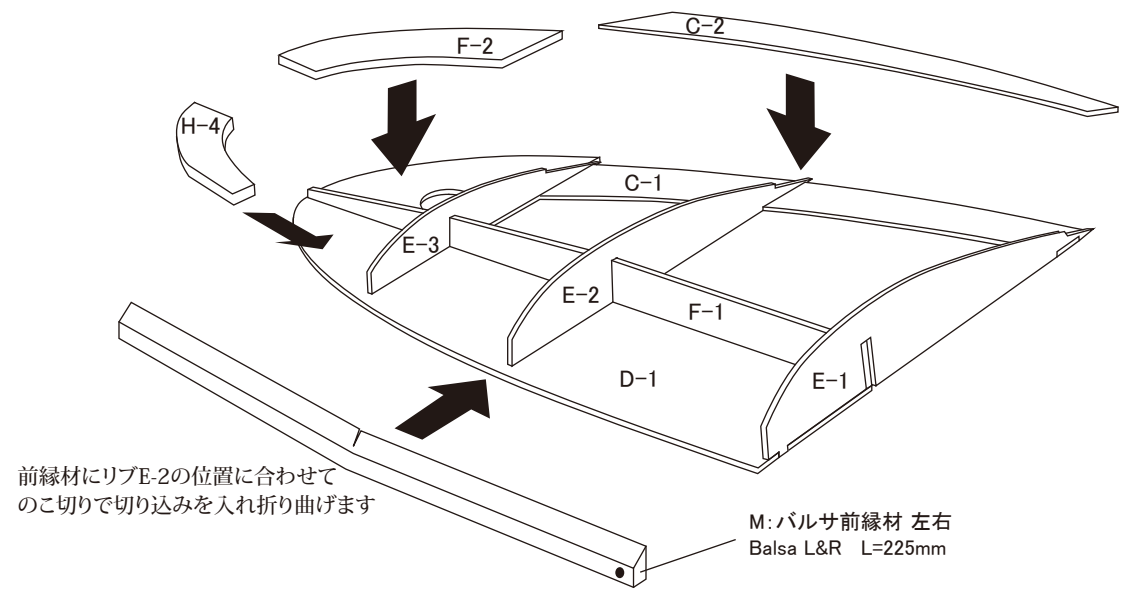


リブを立てるときに、治具J-5を使用します。



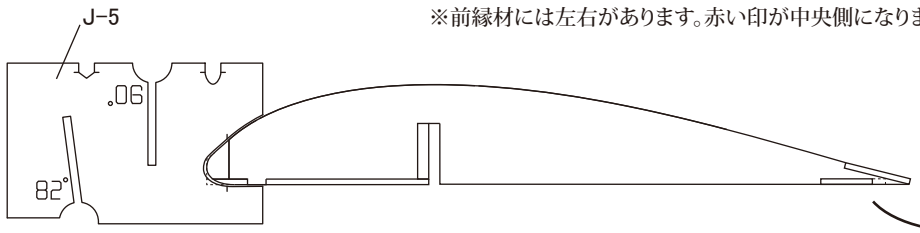
内側のリブは、上反角に合わせて82°にセット。



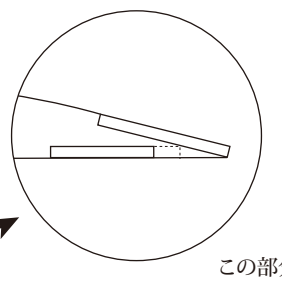


前縁材にリブE-2の位置に合わせて
のこ切りで切り込みを入れ折り曲げます

※前縁材には左右があります。赤い印が中央側になります。

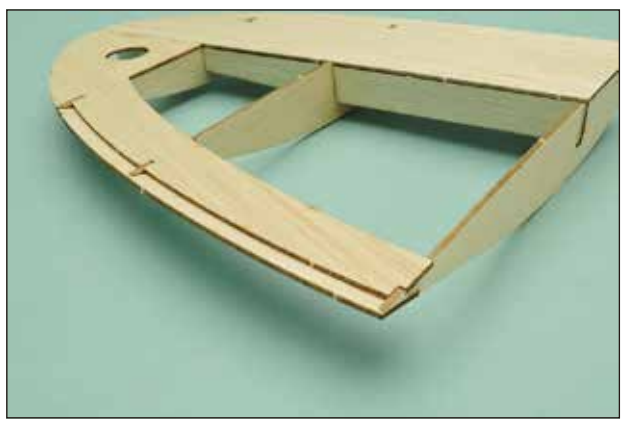


前縁材を図面に合わせてサンディングブロック
を使って成型します。
治具J-5がテンプレートになります。
翼端は薄くなりますので図面に合わせてください。



この部分に注意

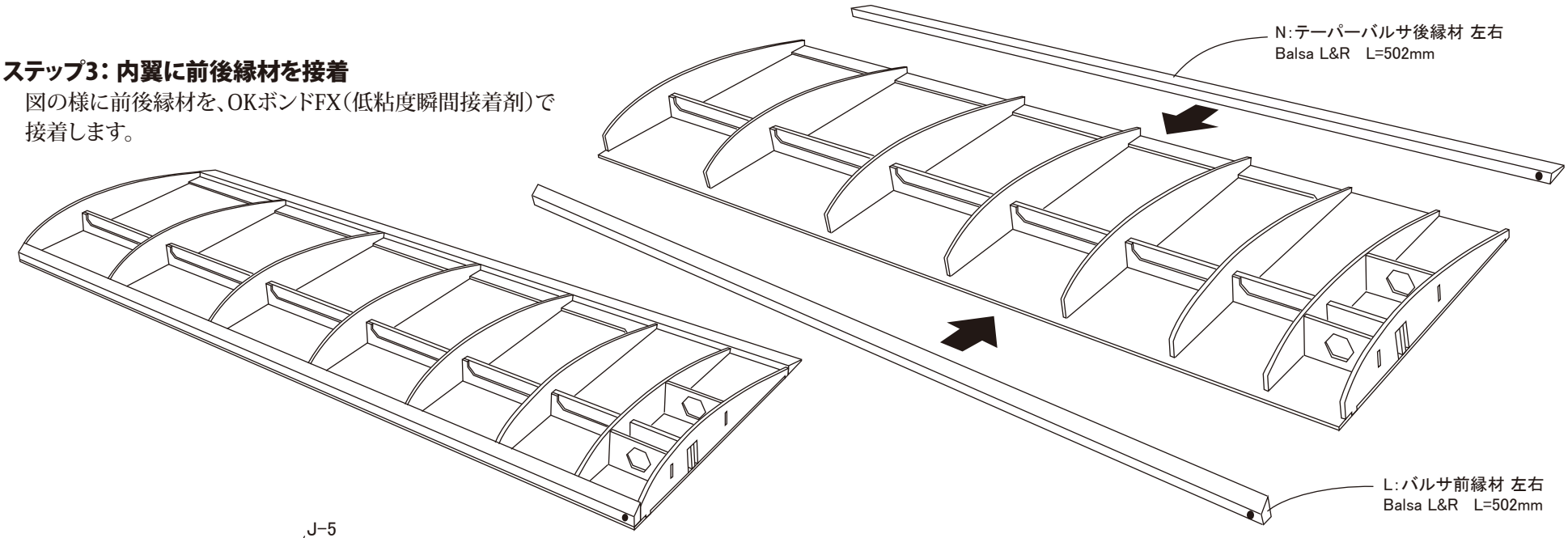
翼端前縁部分の成型は写真のようになります。削り過ぎないようにしましょう。

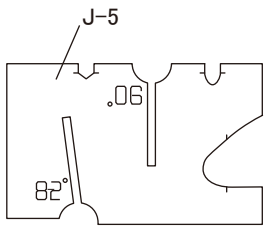


後縁部分を下面からみるとこの様になります。

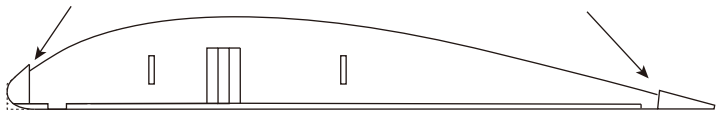
ステップ3：内翼に前後縁材を接着

図の様に前後縁材を、OKボンドFX（低粘度瞬間接着剤）で
接着します。





前縁材を図面に合わせて
サンディングブロック
を使って成型します。
治具J-5がテンプレートに
なります。



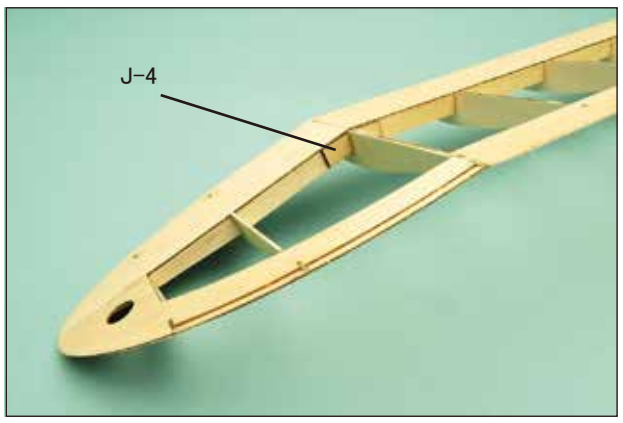
主翼を中央で結合後プランクするので、内側3枚のリブは1.5mmの段差があります。

※前後縁材には左右があります。
赤い印が中央側になります。

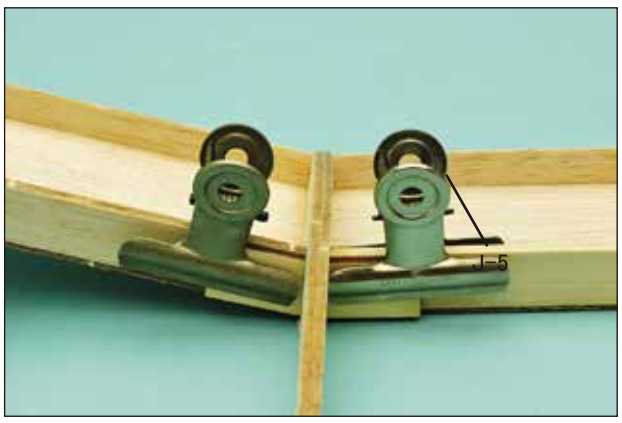
本説明書の一部またはすべての記述について株式会社OK模型の承諾を得ずに無断で複写、複製することを禁じます。

MADE IN JAPAN　© COPY RIGHT 2014-2022 OK MODEL CO.,LTD.

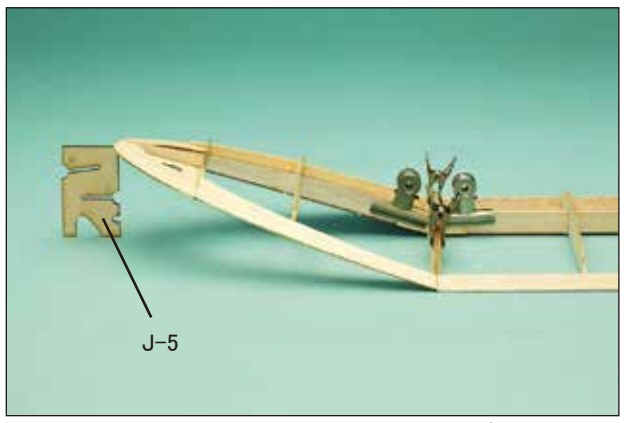
ステップ4：翼端と中央翼の結合



3mmベニヤカンザシJ-4を主翼下面から差し込みます。

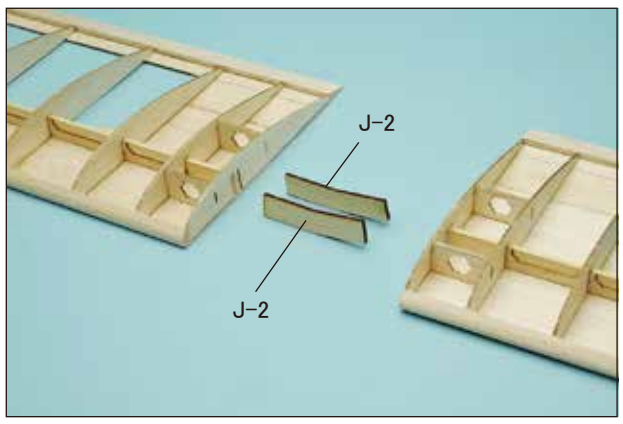


目玉クリップでJ-4と主翼を仮に固定します。

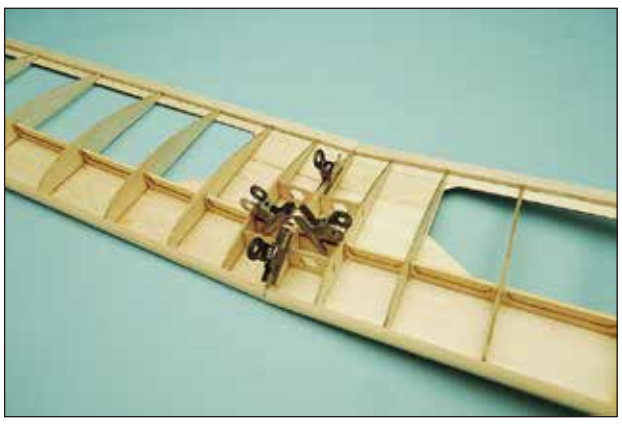


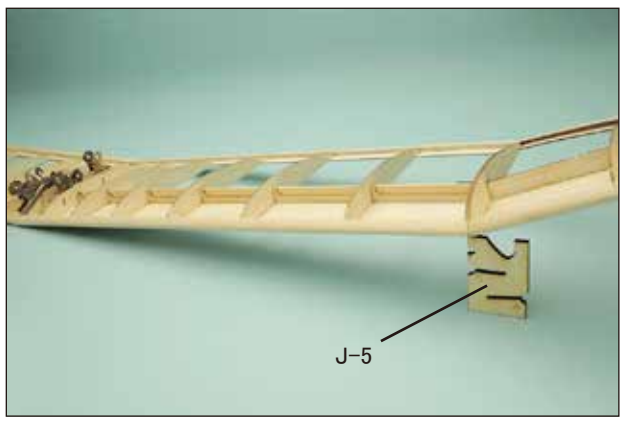
治具J-5を使って上反角を決め目玉クリップで固定した後、周りからOKボンドFX低粘度瞬間接着剤を流します。

ステップ5：左右主翼の結合



3mmベニヤカンザシJ-2を使い主翼を接合しますます。仮に組み立て、隙間なく接合できることを確認します。

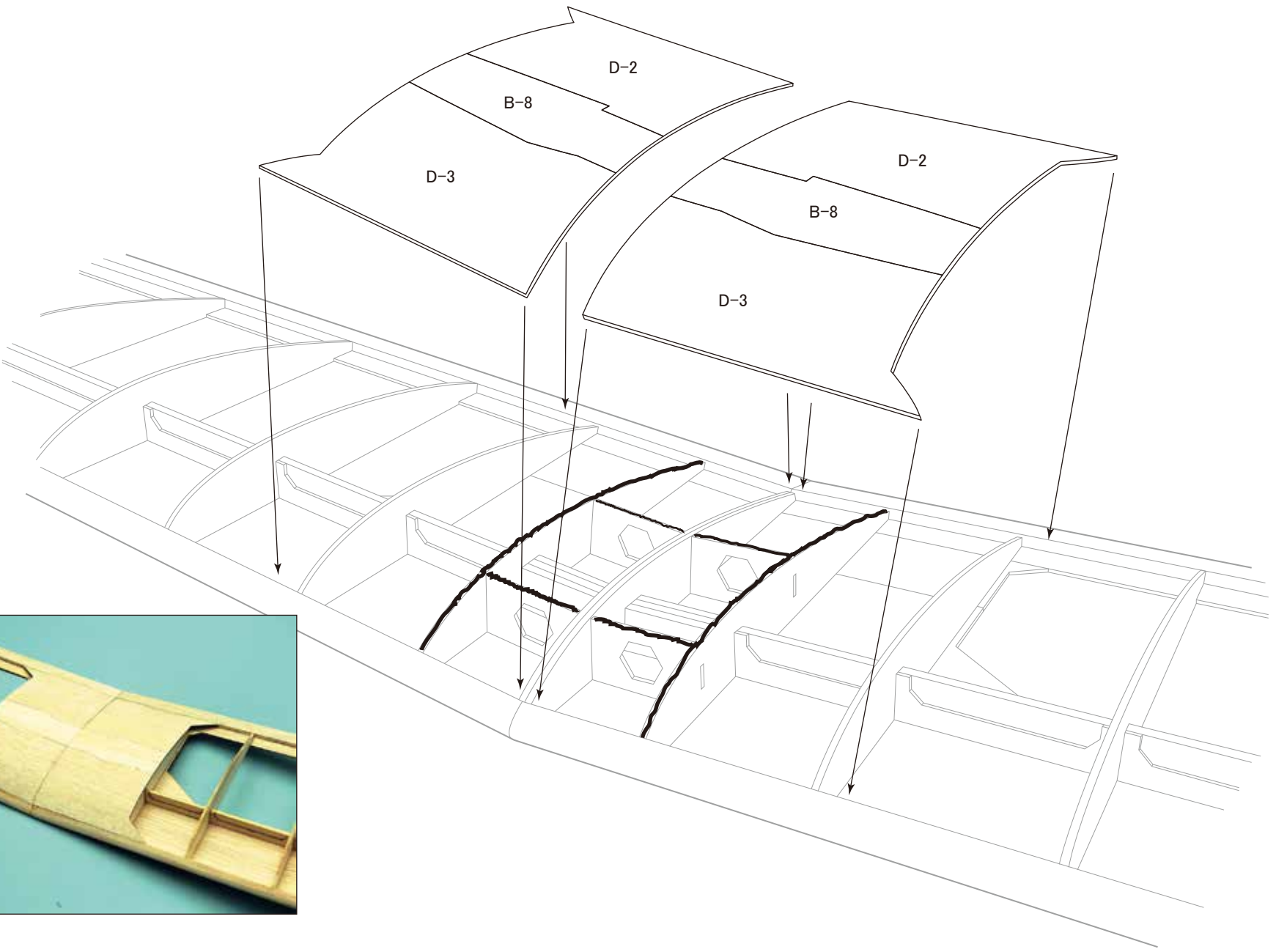

30分硬化型エポキシ接着剤でカンザシと主翼を接着します。目玉クリップで接着剤が固まるまで固定します。

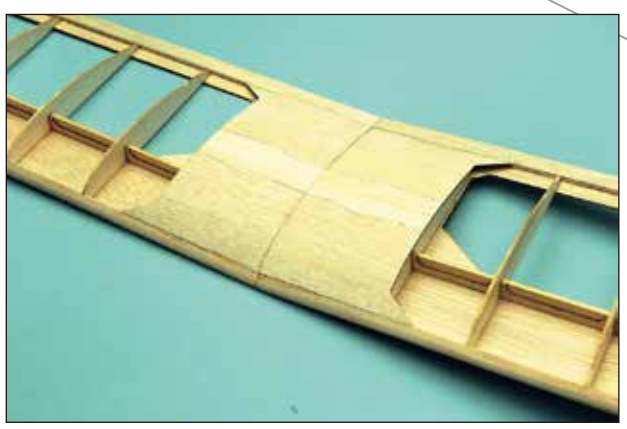


治具J-5を使って上反角を決めます。

ステップ6：主翼中央のプランク

結合された主翼の中央をプランクします。　プランク材D-3、B-8、D-2をOKボンドFX低粘度瞬間接着剤でつなぎ合わせます。
接着剤を付けずに主翼中央にぴったり合うことを確認します。合わない場合はサンドペーパーなどで修正します。
下の図のギザギザマークのところにサンダブルボンドを塗っておきプランク材を接着します。
周囲は周りから低粘度瞬間接着剤流します。



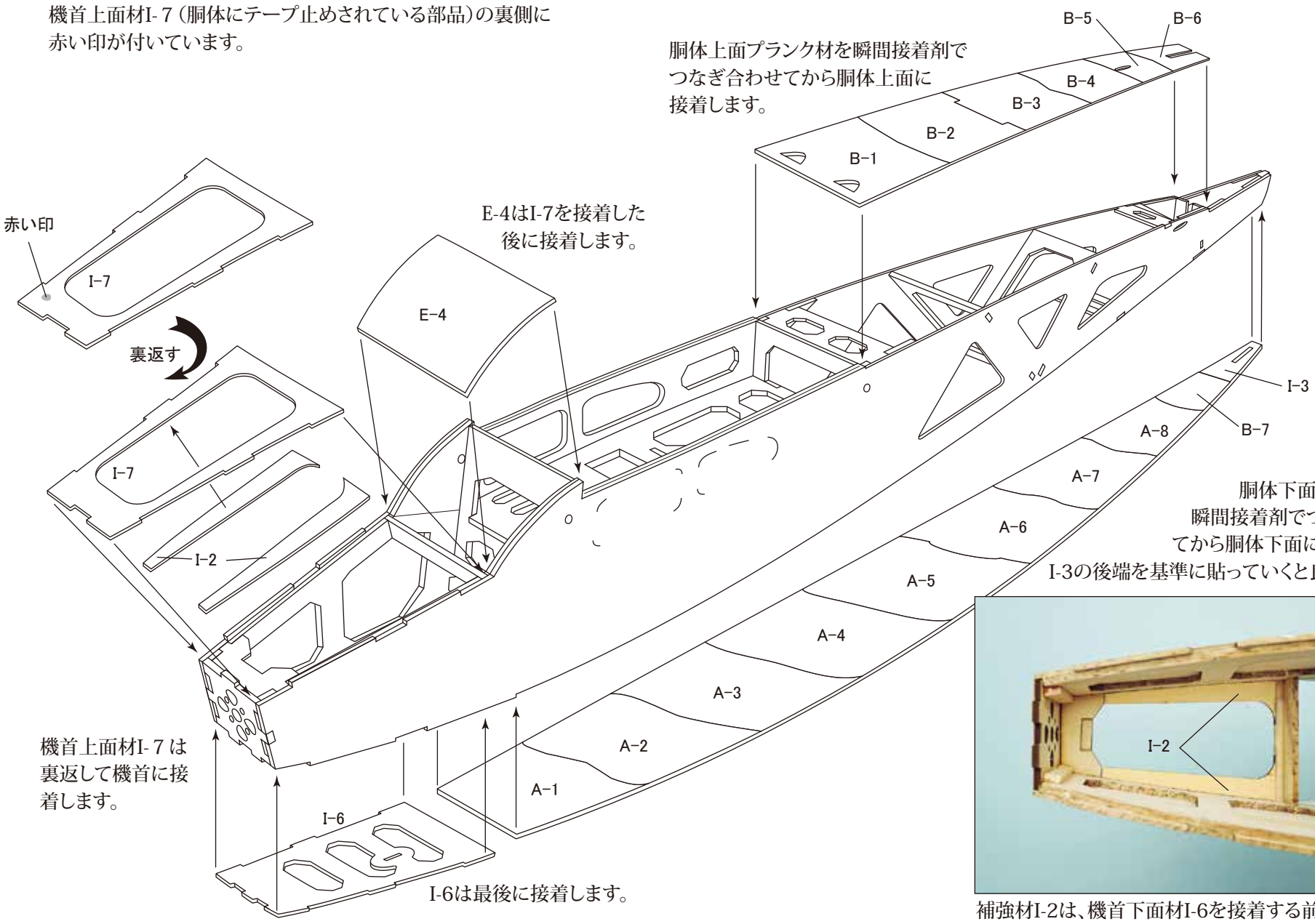


本説明書の一部またはすべての記述について株式会社OK模型の承諾を得ずに無断で複写、複製することを禁じます。

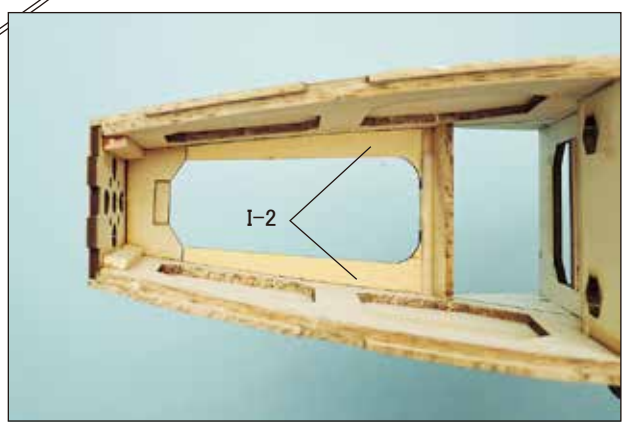
MADE IN JAPAN　© COPY RIGHT 2014-2022 OK MODEL CO.,LTD.

ステップ7：胴体の仕上げ

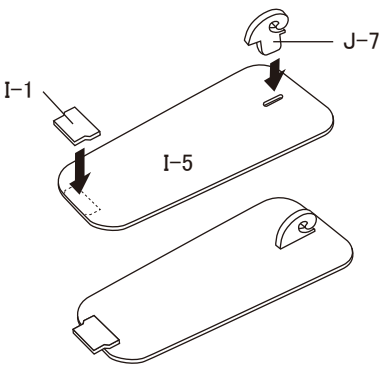
機首上面材I-７(胴体にテープ止めされている部品)の裏側に赤い印が付いています。



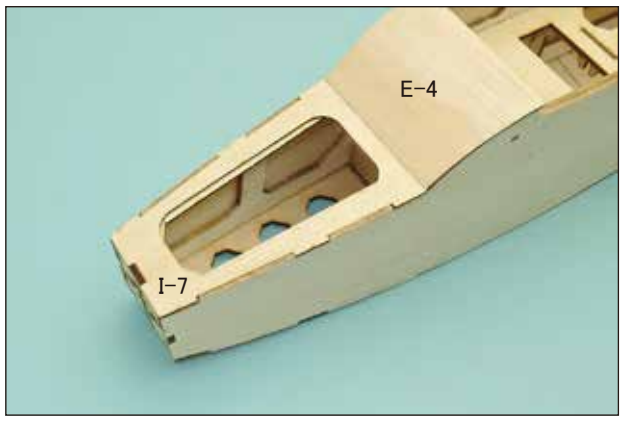
胴体下面プランク材も瞬間接着剤でつなぎ合わせてから胴体下面に接着します。
I-3の後端を基準に貼っていくと良いでしょう。



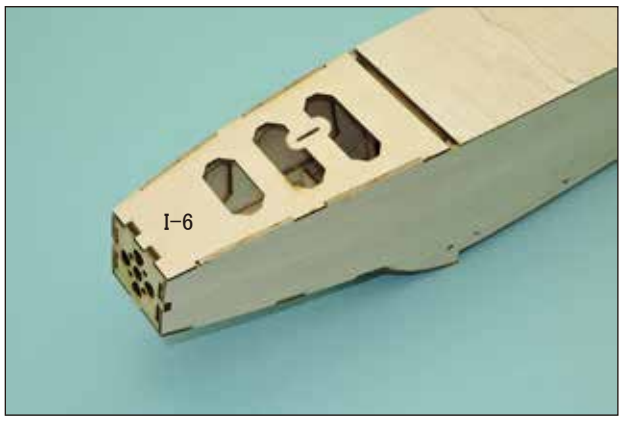
補強材I-2は、機首下面材I-6を接着する前にI-7の内側に中粘度瞬間接着剤で接着します。



ハッチI-5にタブI-1とキャノピーフックJ-7を中粘度瞬間接着剤で接着します。
図面を参考にキャノピーフックJ-８をI-6の内側に中粘度瞬間接着剤で接着します。



完成した機首部分(上面)

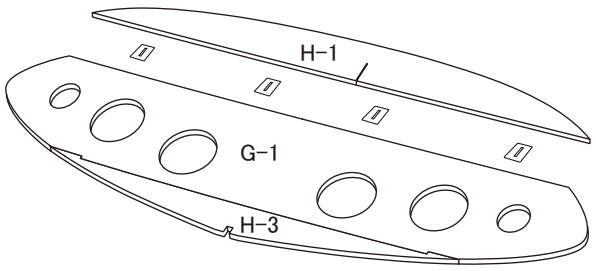


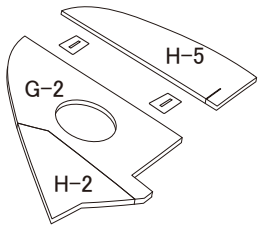
完成した機首部分(下面)

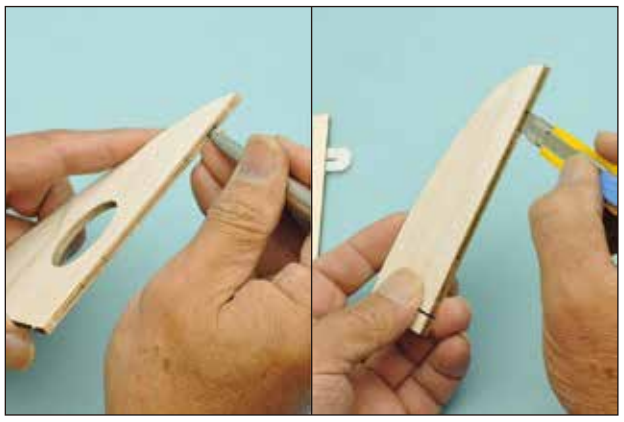
尾ソリJ-1は、フィルム貼りを終わってから30分硬化型エポキシ接着剤で、胴体後部下面のI-3の溝に差し込んで接着します。(P-5/7)

ステップ8：尾翼の組立

垂直尾翼及び水平尾翼を図のように組み立てます。
ヒンジを仮に挿して全体にサンディングします。　※ヒンジの接着はフィルム貼りの後で行います。(P-5/7)

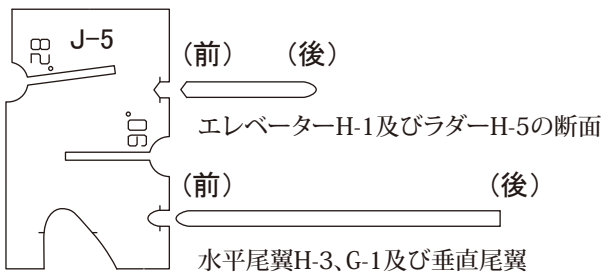


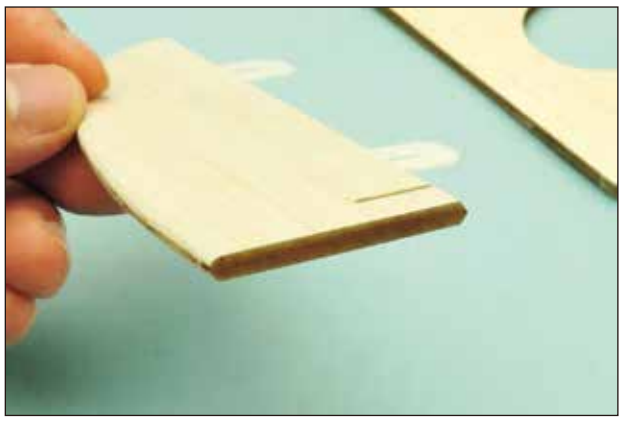




組みあがった部品にセンターラインを引きヒンジの入る溝をカッターナイフで入れます。

垂直尾翼及び水平尾翼の前後縁は治具J-5の形になるようにサンドペーパーで仕上げます。
ボールペンでセンターラインを引いておけば、削る範囲の目印になります。





本説明書の一部またはすべての記述について株式会社OK模型の承諾を得ずに無断で複写、複製することを禁じます。

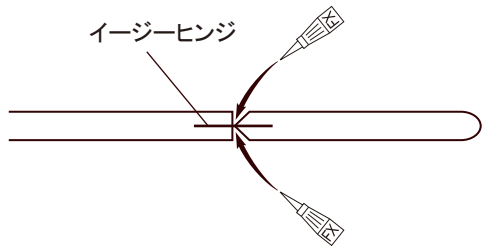
MADE IN JAPAN　© COPY RIGHT 2014-2022 OK MODEL CO.,LTD.

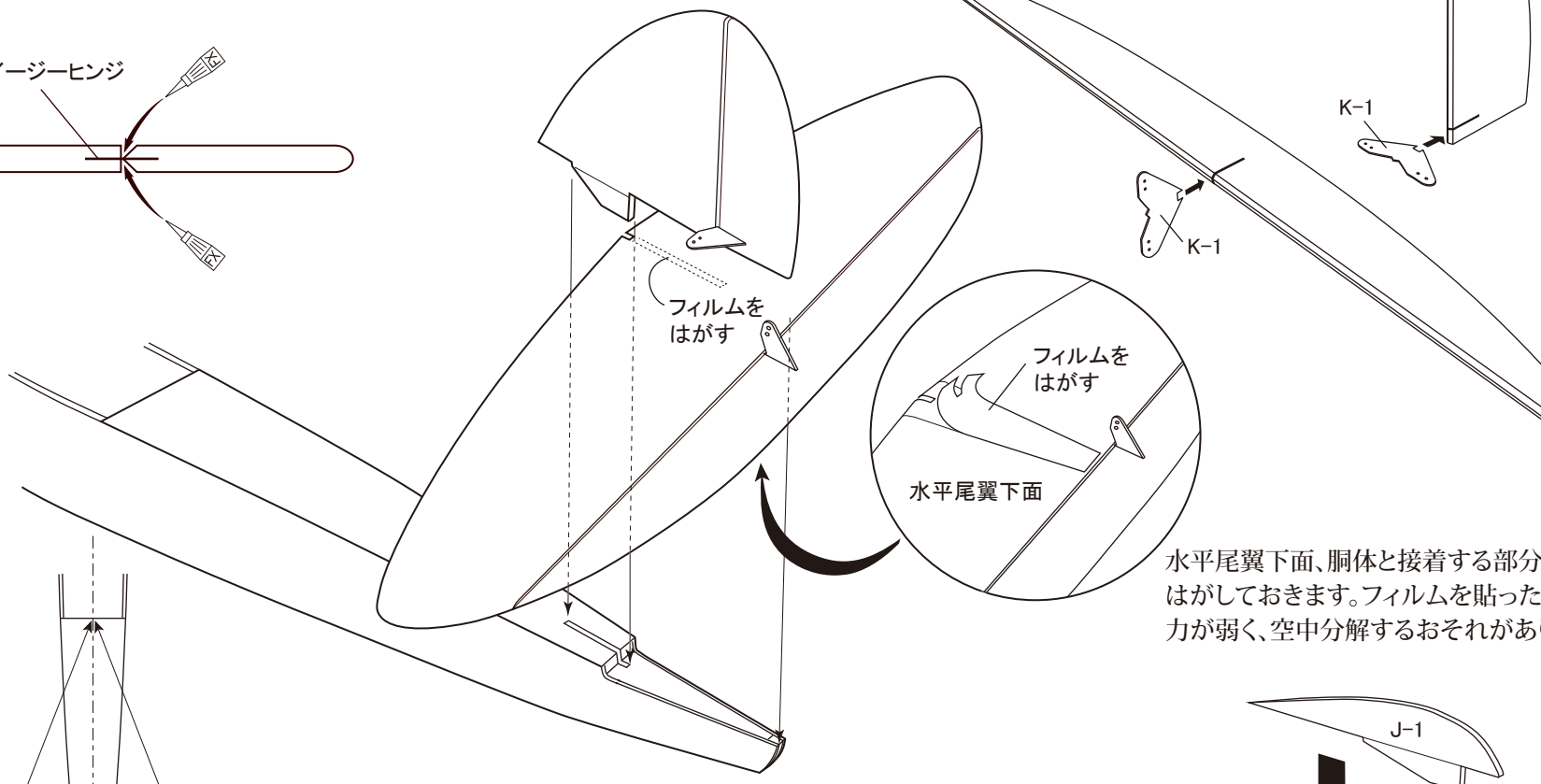
ステップ9：フィルム貼り

ステップ8までに出来上がった機体の各部分をフィルム貼りします。オリンピアを１機フィルム貼りするには、約３mのフィルムが必要です。
好みの色のフィルムを購入しオリジナルカラーで仕上げてください。フィルム貼り未経験の方には、オリンピア用フィルムセット（別売）をお勧めします。
１機分のフィルムと貼り方の説明がセットになっています。
フィルム貼り前の生地完成の状態で機体全体をペーパー掛け（#240～400）することにより、より綺麗な仕上がりになります。
胴体の角は、丸くしすぎずR1ぐらいで仕上げるのが良いでしょう。

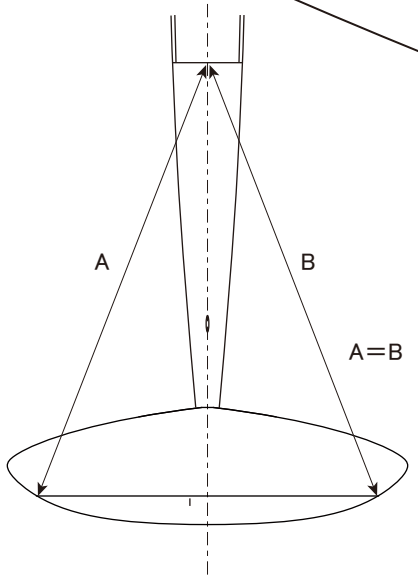
ステップ10：機体の仕上げ

ステップ9でフィルム貼りの済んだ機体の各部分を組み立てて機体を仕上げます。
ラダーとエレベーターにコントロールホーンK-1を低粘度瞬間接着剤で接着します。
その後、ヒンジを図の要領で低粘度瞬間接着剤で接着します。

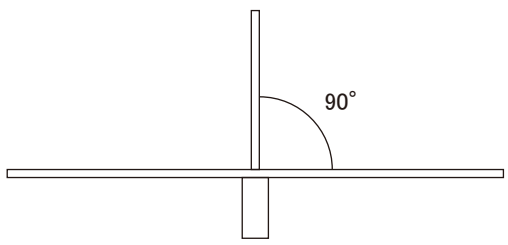




水平尾翼下面、胴体と接着する部分のフィルムをはがしておきます。フィルムを貼ったままだと接着力が弱く、空中分解するおそれがあります。

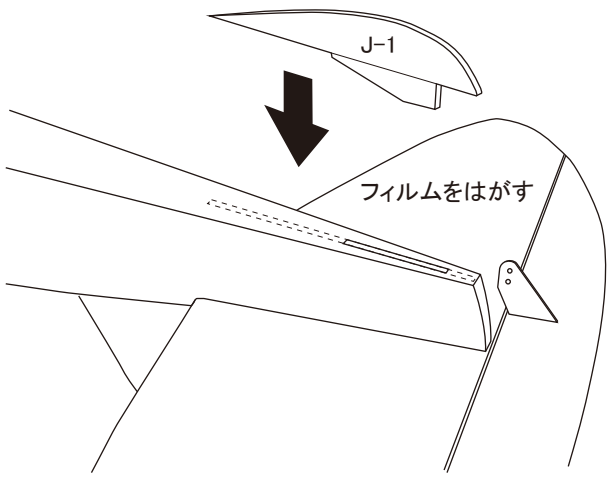


上から見た図

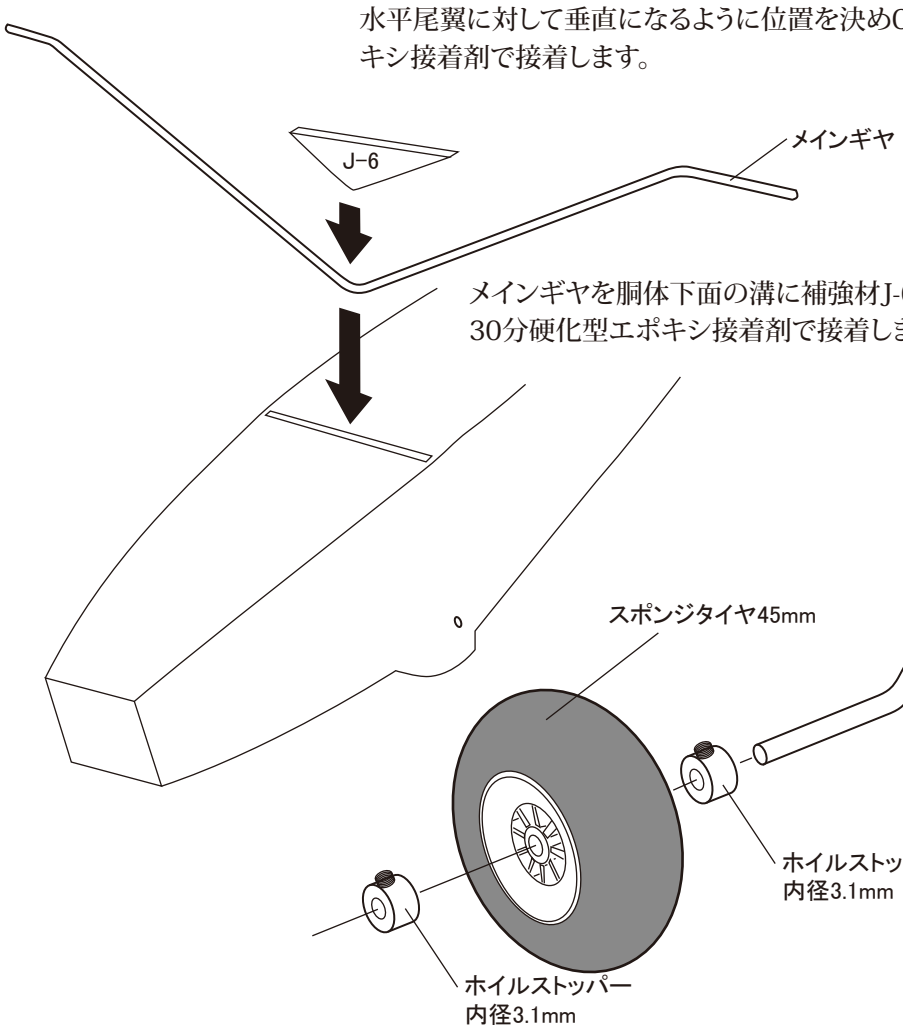


後から見た図

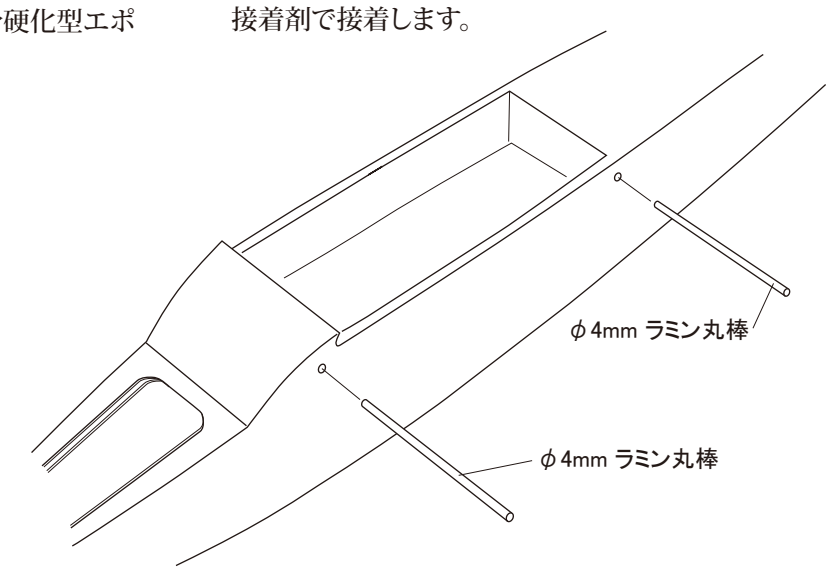
上から見て水平尾翼が胴体のセンターラインと直角になるように位置を決めOKならば、水平尾翼を30分硬化型エポキシ接着剤で接着する。垂直尾翼は、水平尾翼に対して垂直になるように位置を決めOKならば、、30分硬化型エポキシ接着剤で接着します。



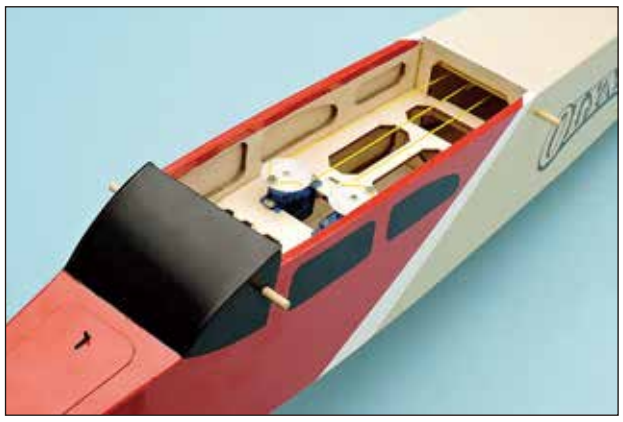
尾ソリJ-1を胴体後部下面の溝に30分硬化型エポキシ接着剤で接着します。



メインギヤを胴体下面の溝に補強材J-6と一緒に30分硬化型エポキシ接着剤で接着します。



メインギヤにスポンジタイヤを取り付けます。タイヤの両側にホイルストッパーを入れ、タイヤが軽く回るようにします。



主翼を固定するラミン棒を胴体の穴に通し低粘度接着剤で側板と胴枠に接着します。

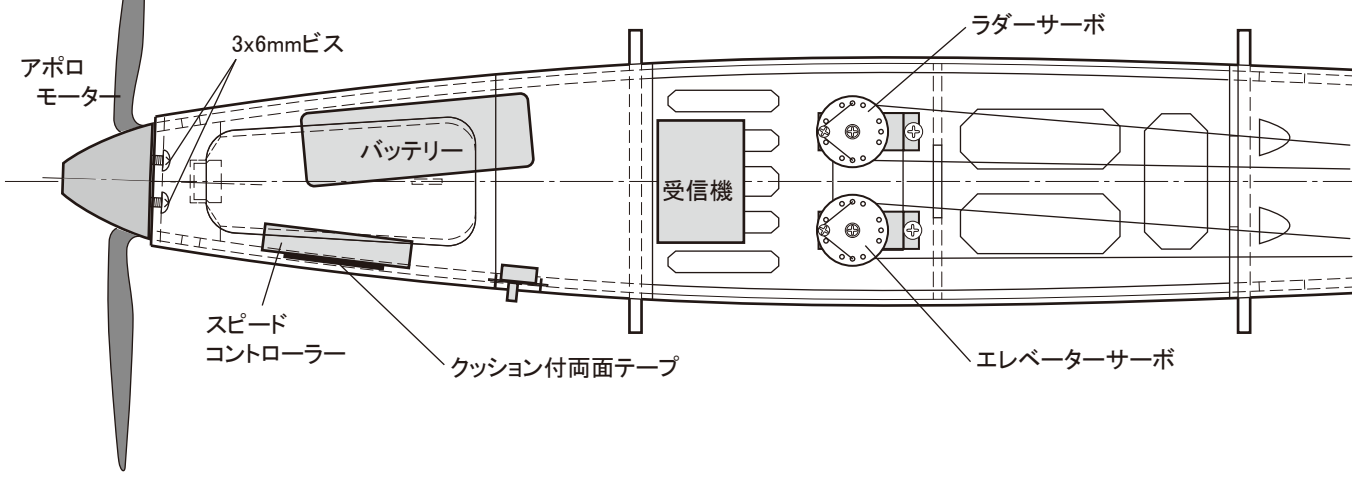
本説明書の一部またはすべての記述について株式会社OK模型の承諾を得ずに無断で複写、複製することを禁じます。

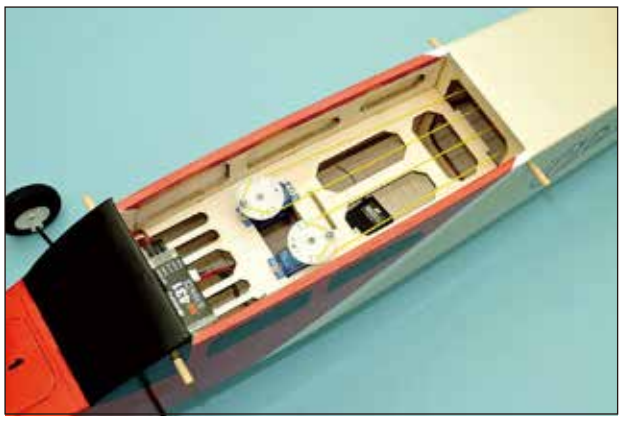
MADE IN JAPAN　© COPY RIGHT 2014-2022 OK MODEL CO.,LTD.

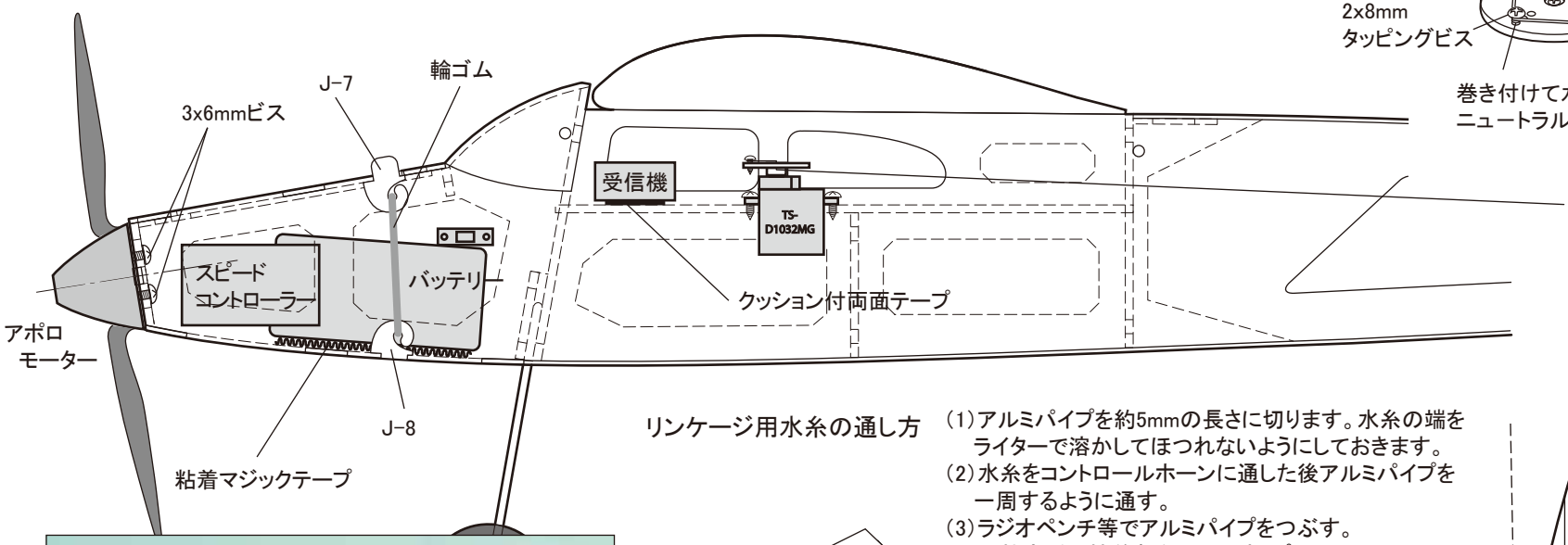
ステップ11：メカ積みと調整

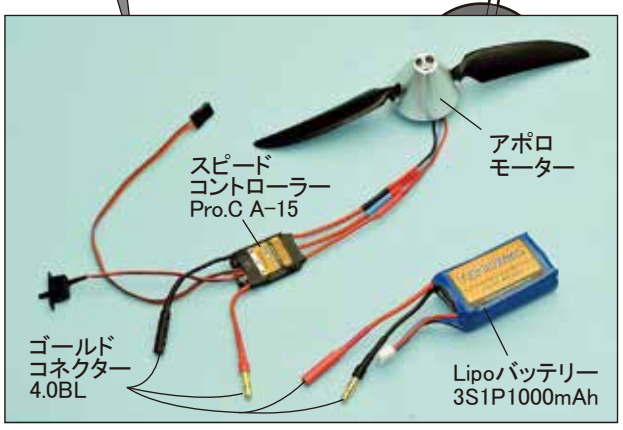
胴体にサーボを搭載します。固定はサーボに付属のタッピングビスを使用します。
サーボマウントに開いている穴が小さい時はサーボに合わせてカッターナイフで大きくします。

受信機はクッション付両面テープで胴体内に張り付けます。
スピードコントローラーは、ハッチ内の側板内側にクッション付両面テープで胴体内に張り付けます。
アポロモーターを3x6mmビス2本で胴体に取り付けます。(中央から対角)





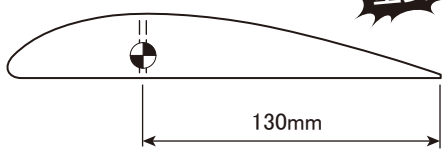




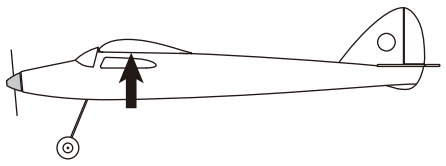
スピードコントローラーとバッテリーにゴールドコネクターを半田付けします。30W以上の大きな半田ごての使用をお勧めします。ゴールドコネクターはシュリンクチューブで絶縁しなければなりません。コードが長すぎる場合には、適当な長さに切る必要があります。
※半田付不良はモーターが回転しないだけでなく、スピードコントローラーの故障の原因にもなります。

重心位置の調整

重要

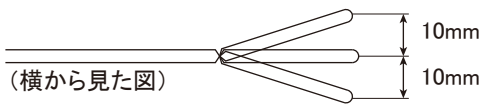


重心位置は主翼後縁から130mmになるように、
バッテリーの位置等を動かして調整して下さい。

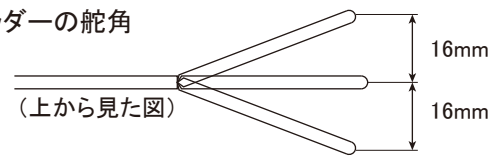


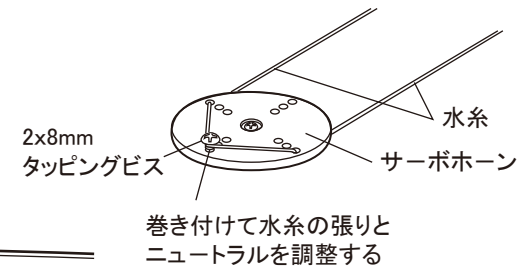
重心位置は完成した機体の主翼下面を指で
支えて前後バランスが釣り合う場所です。

エレベーターの舵角



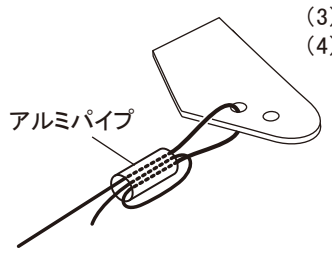
ラダーの舵角

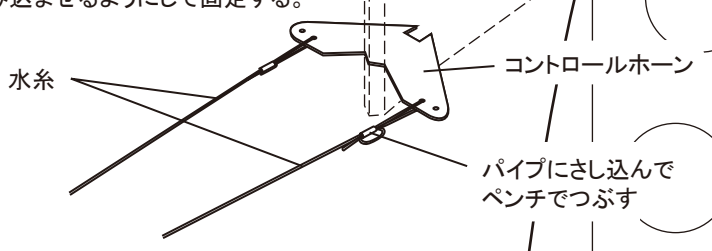


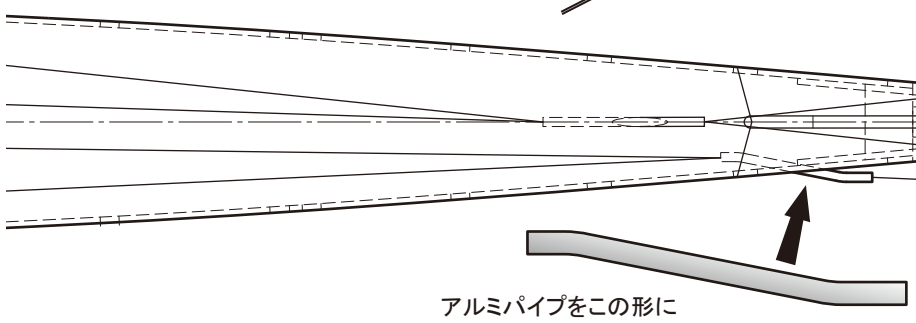


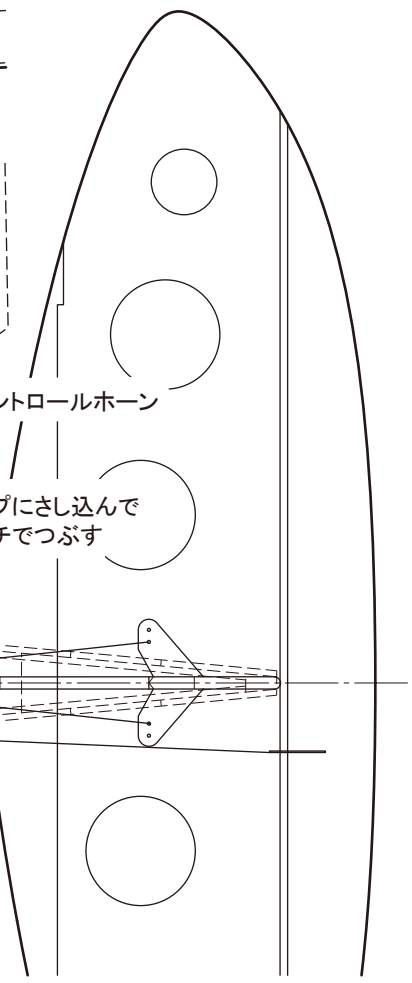
リンケージ用水糸の通し方

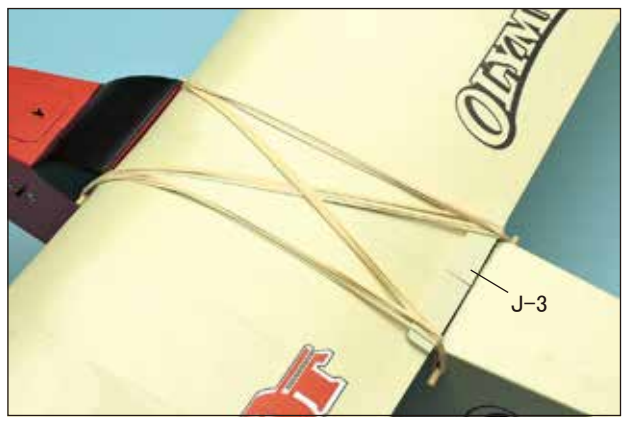
(1)アルミパイプを約5mmの長さに切ります。水糸の端をライターで溶かしてほつれないようにしておきます。
(2)水糸をコントロールホーンに通した後アルミパイプを一周するように通す。
(3)ラジオペンチ等でアルミパイプをつぶす。
(4)低粘度瞬間接着剤をアルミパイプに染み込ませるようにして固定する。





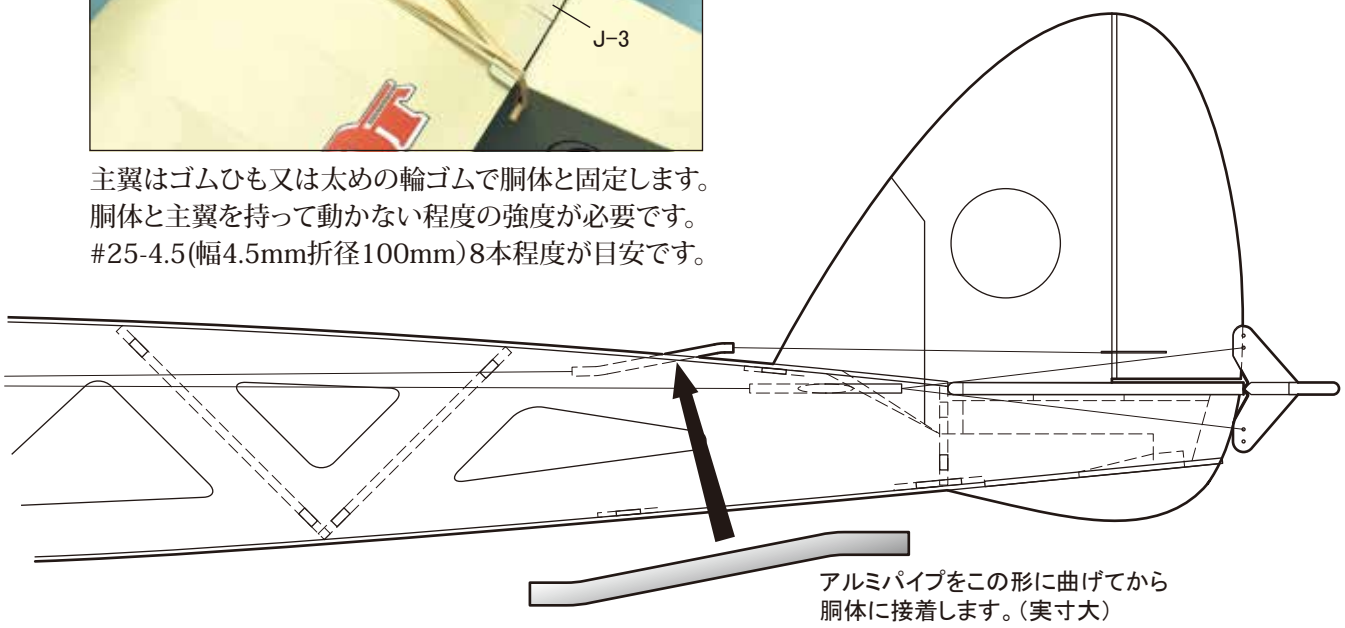






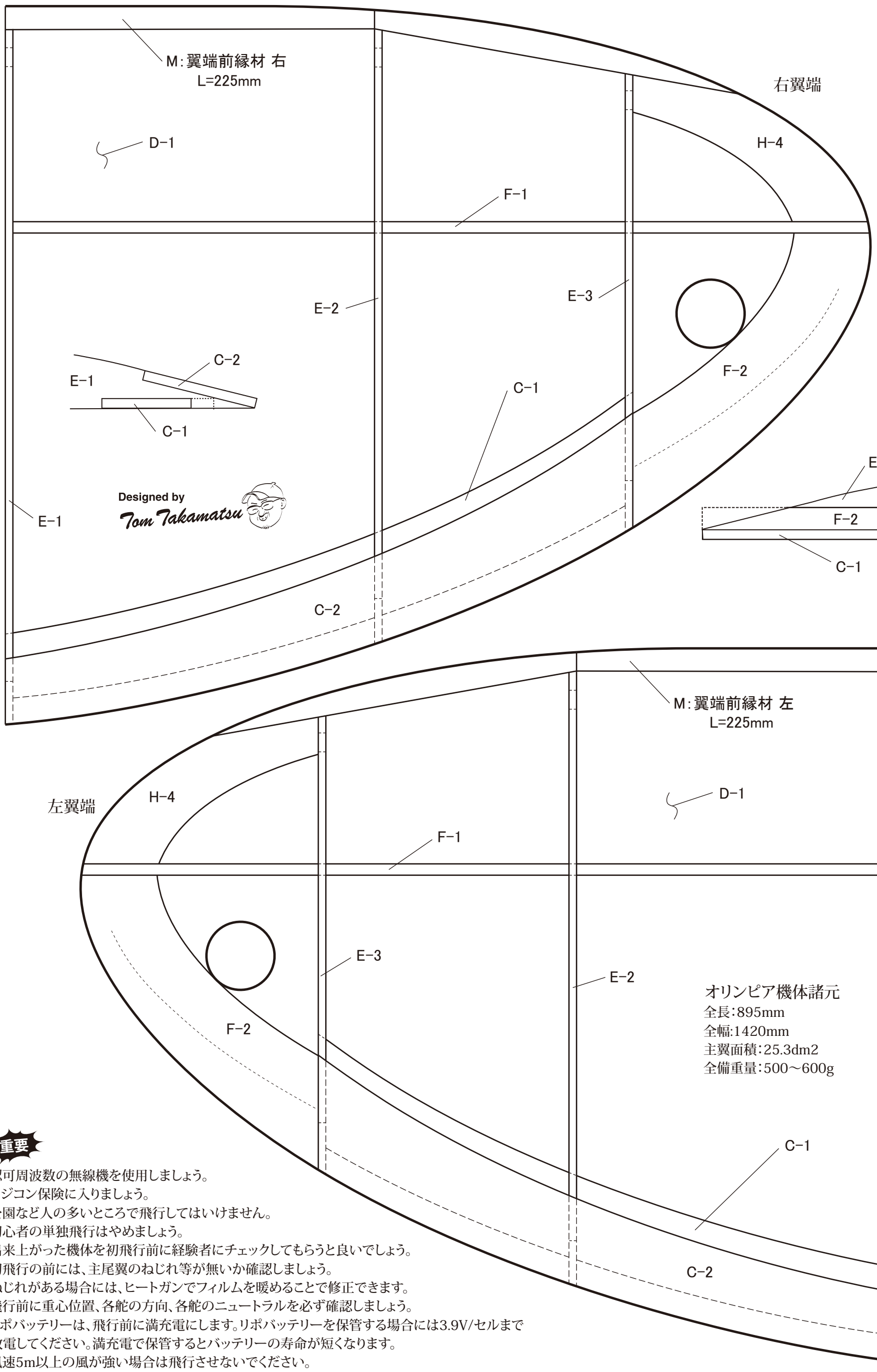
主翼補強J-3は、フィルムを貼った後主翼中央上面に
低粘度瞬間接着剤で接着します。

主翼はゴムひも又は太めの輪ゴムで胴体と固定します。
胴体と主翼を持って動かない程度の強度が必要です。
#25-4.5(幅4.5mm折径100mm)8本程度が目安です。



本説明書の一部またはすべての記述について株式会社OK模型の承諾を得ずに無断で複写、複製することを禁じます。　MADE IN JAPAN　© COPY RIGHT 2014-2022 OK MODEL CO.,LTD.

翼端原寸図



オリンピア機体諸元
全長:895mm
全幅:1420mm
主翼面積:25.3dm2
全備重量:500～600g

重要

・認可周波数の無線機を使用しましょう。
・ラジコン保険に入りましょう。
・公園など人の多いところで飛行してはいけません。
・初心者の単独飛行はやめましょう。
・出来上がった機体を初飛行前に経験者にチェックしてもらうと良いでしょう。
・初飛行の前には、主尾翼のねじれ等が無いか確認しましょう。
　ねじれがある場合には、ヒートガンでフィルムを暖めることで修正できます。
・飛行前に重心位置、各舵の方向、各舵のニュートラルを必ず確認しましょう。
・リポバッテリーは、飛行前に満充電にします。リポバッテリーを保管する場合には3.9V/セルまで
　放電してください。満充電で保管するとバッテリーの寿命が短くなります。
・風速5m以上の風が強い場合は飛行させないでください。
・安全に飛行させるように心がけましょう。墜落や事故の責任は、全て操縦者にあります。

本説明書の一部またはすべての記述について株式会社OK模型の承諾を得ずに無断で複写、複製することを禁じます。

MADE IN JAPAN　© COPY RIGHT 2014-2022 OK MODEL CO.,LTD.